

科目区分：外国語科目（ドイツ語）

授業科目名	ドイツ語					学期	曜日	校時
英語名	German							
担当 教官名	小川 保博	単位数	1単位	必修 選択	必修	前期	火曜日	2校時
授業のねらい・内容・方法								
<p>初級ドイツ語。平易な文や会話文を媒介としながら、ドイツ語の基本的な仕組みを理解し、自分で学習する際に立ち返れる「礎」を築くことを目指します。発音を軽視せず、テキストの音読をくりかえし、復習に重点を置きながら、習った事項を確実に積み上げ、揺るぐことのない基盤を築くよう、心がけてください。辞書の引き方にも慣れてください。</p>								
テキスト、教材等								
『シュトラッセ』（朝日出版社）								
対象学生	成績評価の方法					教官研究室		
E5 ~ E7	定期試験での成績を評価の原則とし、必要に応じて出席状況ならびに平素の学習を考慮していきます。							
授業計画								
<p>基本的にはテキストの流れに沿って講義を進めていきます。テキストの各課は前半、後半の二つに分けられ、それぞれ「会話テキスト」、「キーセンテンス」、「会話テキストの日本語ヴァージョン」、「説明と練習問題」から成り立っています。ドイツ語で学習する文法項目は、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 動詞の現在人称変化(1)、ドイツ語の文の成り立ち(2) 2. sein と haben の現在人称変化、ドイツ語の文の成り立ち(2) 3. 名詞の性、定冠詞と不定冠詞、冠詞と名詞の格変化 4. 所有冠詞・否定冠詞、名詞の複数形、名詞の数と格 5. 動詞の現在人称変化(2)、命令形、時刻表現、疑問文 6. 3格の用法、人称代名詞の格変化、2格の用法、3格と4格の語順 7. 前置詞、前置詞の格支配 8. 話法の助動詞、分離動詞、枠構造 9. 現在完了(過去分詞の作り方)、現在完了と枠構造 <p>です。講義三回ないし四回で各課を終了し、時間が許せば、ビデオなどでドイツ人の日常生活を紹介したり、ドイツ映画を見せれば、と考えています。</p>								